

# 日科技連 SQiP事業のご紹介

一般財団法人日本科学技術連盟  
品質経営推進センター  
品質経営・SQiP・MSグループ

<https://www.juse.or.jp/sqip/>

1980年：SPC（Software Production Control）を発足

目的：日本的品質管理（TQC、TQM、QC）をソフトウェア生産に適応するための調査、研究、普及を行い、日本のソフトウェア製品の品質向上と効果的開発手法、方法論の確立をするために発足。

2007年：SPCからSQiP（**S**oftware **Q**uality **P**rofession）へ呼称を変更、更なる活気あふれる活動に。

目的：SPC時代の理念から変わることなく、更なる日本的品質管理（TQC、TQM、QC）をソフトウェア産業へ適応するための調査、研究、普及を行うため。



**S**oftware **Q**uality **P**rofession

聖職者、医師、弁護士に次ぐ、  
第4の「Profession」として位置付けたい！

**品質にしっかりと取り組めば、組織は賢く、強く、幸せになれる  
品質経営が有効である！品質なくして企業の存続なし！**

## ◇品質にしっかりと取り組む

- ソフトウェアを通じて、顧客に提供する価値を考える。
- 価値を提供し続けるために、組織的に必要な活動をデザインする
  - ・対象とするニーズを定める／新たに掘り起こす
  - ・ニーズを満たす製品・サービスの品質要素を計画する（広義の品質）
  - ・品質要素の実現度合い（狭義の品質）を保証するプロセスを確立する。
  - ・品質要素の実現に係る固有技術と、管理や品質保証に係る技術を進化させ、価値提供のスピードを加速する。
  - ・提供した価値に対する顧客満足の度合いを評価する。
  - ・「事実に基づく管理」を主軸にして、プロセスを継続的に改善する。
  - ・この過程で得られた知識を、組織的に活用する。

## ◇組織が賢く、強く、幸せになる

- 価値提供の結果 / 自社独自の経験 / 失敗に学び、組織が賢くなる。
- 組織独自の知識・技術（固有技術） / 継続的改善能力は、競争優位の源泉である。
- 賢く強く組織は、幸せになる。

# 3. SQiPの人材育成・品質教育

「すべての技術者に品質技術を！」

企業（人）の問題解決や課題達成を第一に考え、ソフトウェア品質知識体系ガイド SQuBOK Guide を軸にセミナー、研究会、シンポジウム、資格試験等、幅広く事業展開。

<SQuBOK Guide 網羅範囲>

基礎・実践

## ●研究会：

ソフトウェア品質管理研究会  
ODC分析研究会

実践（アウトプット）

## ●シンポジウム：

企業の成果・事例発表  
相互研鑽・情報交流の場

## ●国際活動

基礎（インプット）

## ●セミナー：

品質マネジメント概論／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアメトリクス／ソフトウェアテスト／プロセス改善／要求・仕様／派生開発／アジャイル／PM・PJ等

## ●eラーニング／オンデマンド：

品質マネジメント概論／ソフトウェア品質技術／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアテスト／アジャイル開発・マネジメント

評価（アウトプット）

資格試験

…知識・技術の適格性の証明

# 4. SQiPセミナーのご紹介

## ＜階層から見るSQiP事業マップ＞

		内容						
		考え方	手法	手順	資格認定	研究会	eラーニング	シンポジウム・大会・フォーラム
階層	社長・役員 ／部長クラス							
	部長／課長 クラス							
	課長／係長 クラス	実践！ソフトウェア品質向上のための原因分析セミナー						
		実践！管理者のためのソフトウェア品質マネジメントセミナー						
		実践！プロジェクトマネジメントセミナー						
	係長／主任 クラス	品質重視のアジャイル開発セミナー（概要編・技法編）						
		AIソフトウェアの品質保証セミナー						
			ソフトウェアテスト分析手法 実践セミナー <b>[New]</b>					
		実践！ソフトウェア品質保証のためのメトリクス活用セミナー						
		実践！ソフトウェア品質向上のための技術者セミナー						
	主任／一般社員 クラス	ソフトウェア不具合改善手法 ODC分析の基礎セミナー			ソフトウェア品質技術者資格試験・中級	ソフトウェア品質管理研究会	ソフトウェア品質技術者初級セミナー	ソフトウェア品質シンポジウム
		実践！XDDP（派生開発プロセス）セミナー						
		データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー（基礎編・技法編）			ソフトウェア品質技術者資格試験・初級	OC分析研究会		
		JSTQB認定ソフトウェアテスト技術者 Foundation Levelトレーニングコース						
		ソフトウェア品質技術者初級セミナー						
		基礎から学ぶソフトウェア品質マネジメントセミナー						



# 4. SQiPセミナーのご紹介

## ● 集合セミナー：14種類23コースを実施（予定）

	名称	日数	開催場所
1	ソフトウェア品質技術者初級セミナー【JCSQE資格試験対応】	2日	ライブ
2	ソフトウェアテスト分析手法 実践セミナー	2日	ライブ
3	JSTQB認定ソフトウェアテスト技術者 – Foundation Levelトレーニングコース	3日	ライブ
4	データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー（基礎編）	1日	ライブ
	データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー（技法編）	2日	ライブ
	データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー（基礎編+技法編）	3日	ライブ
5	実践！ソフトウェア品質保証のためのメトリクス活用セミナー	2日	ライブ
6	実践！ソフトウェア品質向上のための技術者セミナー	6日	ライブ
7	<b>【リニューアル】</b> 実践！管理者のためのソフトウェア品質マネジメントセミナー	2日	ライブ
8	<b>【リニューアル】</b> 実践！プロジェクトマネジメントセミナー	2日	ライブ
9	実践！トラブルプロジェクト(実例)に学ぶセミナー	0.5日	ライブ
10	実践！仕様化（USDM）セミナー	2日	ライブ
11	実践！派生開発プロセス（XDDP）セミナー	2日	ライブ
12	品質重視のアジャイル開発セミナー（概要編）	1日	ライブ
	品質重視のアジャイル開発セミナー（実務編）	1日	ライブ
	品質重視のアジャイル開発セミナー（概要編・実務編）	2日	ライブ
13	AIソフトウェアの品質保証セミナー	2日	ライブ
14	ソフトウェア不具合改善手法 ODC分析の基礎セミナー	2日	ライブ

# 5. SQiP eラーニング/オンデマンドのご紹介

## ● オンデマンド/eラーニング：5種類を公開中 (予定)

	名称	期間	開催場所
1	基礎から学ぶソフトウェア品質マネジメントセミナー	1か月間	ライブ
2	基礎から学ぶソフトウェアテストのマネジメント・技法	1か月間	ライブ
3	基礎から学ぶソフトウェアレビューのプロセスと欠陥検出テクニック	1か月間	ライブ
4	基礎から学ぶ品質の観点からのアジャイル開発入門	1か月間	ライブ
5	【eラーニング】ソフトウェア品質技術者初級セミナー0	3か月間	ライブ

オンデマンド/eラーニングは、個人受講はもちろん、  
各社の教育プラットフォームと連動し、教育効果を図ることも可能！



## 「すべての技術者に品質技術を！」

企業（人）の問題解決や課題達成を第一に考え、  
ソフトウェア品質知識体系ガイド SQuBOK Guide を軸に  
セミナー、研究会、シンポジウム、資格試験等、幅広く事業展開。

<SQuBOK Guide 網羅範囲>

基礎・実践

### ●研究会：

ソフトウェア品質管理研究会  
ODC分析研究会

実践（アウトプット）

### ●シンポジウム：

企業の成果・事例発表  
相互研鑽・情報交流の場

### ●国際活動

基礎（インプット）

### ●セミナー：

品質マネジメント概論／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアメトリクス／ソフトウェアテスト／プロセス改善／要求・仕様／派生開発／アジャイル／PM・PJ等

### ●eラーニング／オンデマンド：

品質マネジメント概論／ソフトウェア品質技術／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアテスト／アジャイル開発・マネジメント

評価（アウトプット）

資格試験

…知識・技術の適格性の証明

# 6. SQiP研究会のご紹介

- ソフトウェア品質の分野で最も歴史のある研究会
  - 継続は力なり！今年度で40年目を迎えました！
  - ソフトウェア品質に関連した「教育・学習」と「事例研究」を1年間継続して行う。高度な技術の習得と問題解決力・実践力の向上を図ることができます。
  - 活動期間：2024年5月～ 2025年3月（例会・全9回）
  - 参加費：326,700円（一般） / 297,000円（会員） \*税込
- ※継続参加企業の特典：311,850円（一般） / 282,150円（会員） \*税込



各分野第一線の専門家による**特別講義**  
経験豊富な講師陣による強力な**分科会指導**  
研究員との**情報交換および相互研鑽**

# 6. SQiP研究会のご紹介

- ネットワークづくりに最適です！
- 様々な分野の業種から、多様な立場の方が参加し、課題を持ち込み、それを議論できる。
- 総勢100名を超える参加者
- 当該分野の第一人者である講師の指導を受けられる
- 他社の技術者との人脈構築 ⇒ 情報収集 ⇒ ブラッシュアップ ⇒ 成長
- 「研究員と研究員」、「講師と研究員」をつなぐ、場の提供、ネットワーク作りへのお役立ち

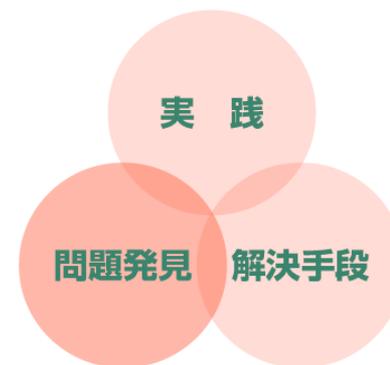
## 過去の参加企業一覧(2010年~2023年)

240社以上の企業に参加いただいています！

㈱IHI
㈱IHI エスキューブ
アイエス情報システム㈱
アイエックス・ナレッジ㈱
㈱アイシン
アイシン・コムグループ㈱
アイシン精機㈱
アイホン㈱
旭化成㈱
旭化成エレクトロニクス㈱
㈱AGEST
アズビル㈱
㈱アドバンテスト

㈱シーイーシー
GEヘルスケア・ジャパン㈱
㈱CSK
㈱JSOL
㈱システムソフィア
㈱システムフロンティア
シスメックス㈱
㈱SHIFT
ジブラルタ生命保険㈱
㈱JAL インフォテック
新日鉄ソリューションズ㈱
住友重機械工業㈱
セイコーエプソン㈱

日本プロセス㈱
日本ユニシス㈱
㈱ネクストジェン
農中情報システム㈱
㈱ノーリツ
㈱野村総合研究所
パイオニア㈱
パナソニック㈱
パナソニック㈱AVCネットワークス社
パナソニックコネクト㈱
バルテス㈱
ビアメカニクス㈱
ビー・シー・イー㈱



# 6. SQiP研究会のご紹介

## ●SQiP研究会が目指す人材育成

- 単に技術を教える場ではありません。  
本人が習得しただけでは組織の改善に繋がりません。
- 習得した技術を実務に適用し、課題解決するのは、  
そう簡単なことではありません。
- 課題解決が出来る人を育成するために
  - **実務に応用可能なレベルまで深く指導**  
→実践経験豊富な指導陣が1年間かけて、教科書レベルではないリアルな技術を指導
  - **現場を説得できる人間力を醸成**  
→研究員同士で議論を交わしながら論文をまとめるなどの  
試練を乗り越えてもらう

**一目置かれる人材に生まれ変わるきっかけを提供**

# 6. SQiP研究会のご紹介

## ■ 研究コース：5つのコース

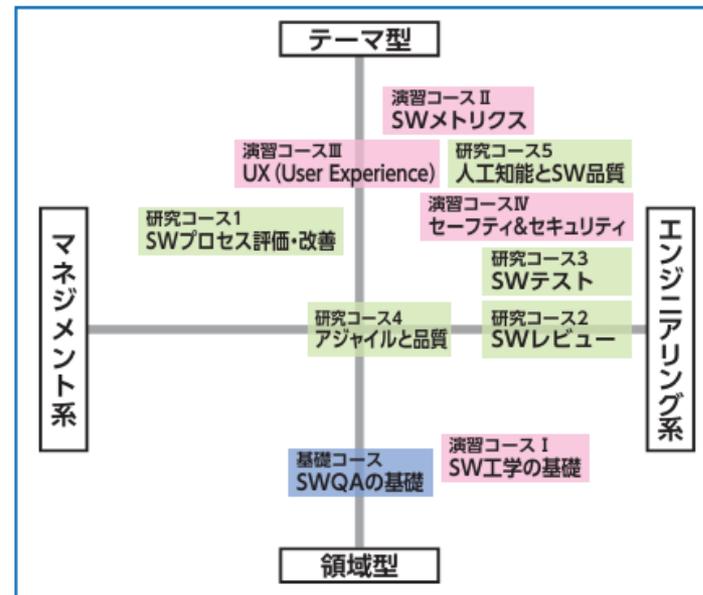
テーマに関する技術を深めるために、その進化や業務での応用実践などを目指します。最終的に活動によって得られた成果の新規性や有用性などを論文としてまとめます。

## ■ 演習コース：4つのコース

テーマに関する技術を確実に習得するために、演習を多くこなしながら実践的に学びます。論文執筆は必須ではありませんが、レポートをまとめてもらう場合もあります。

## ■ 基礎コース：1つのコース

品質技術全般の基礎を学びます。毎回各テーマの専門家による講義と、テーマに沿ったディスカッションにより理解を深めます。単に学習だけではなく、他社の取組みを知り、自社の課題を把握することができます。論文執筆はありません。



# 6. SQiP研究会のご紹介

(括弧内は午前特別講義テーマ) (予定)

- 5月 例会① (ソフトウェア3R)
- 6月 例会② (SaPID)
- 7月 例会③ 1泊2日の合宿 (東京近郊)
- 8月 臨時会 各コースで臨時会を実施 (予定)
- 9月 例会④ ソフトウェア品質シンポジウム  
基礎コース特別例会 (前半の講義は他コースの方でも参加可能)
- 10月 例会⑤ (自動テスト)
- 11月 例会⑥ (オープンソースソフトウェア)
- 12月 例会⑦ (MLOps)
- 1月 例会⑧ (心理的安全性)
- 2月 基礎コース特別例会 (前半の講義は他コースの方でも参加可能)
- 3月 例会⑨ 成果発表会



※：その他、「論文の書き方講座」、「緊張のコントロール講座」等、研究員向けの特別講座も計画中。

# 7. アジャイルSQC研究部会のご紹介

<New!>

## <アジャイルSQC研究部会> 設立趣旨

アジャイル開発においてもFour Keysなどの定量化が適用されてきており、その範囲はどんどん広がっていくと考えられます。しかし我が国ではまだあまり事例が共有されておらず、どのような定量化がどのような状況に適しているのか、どのような分析技法があるのか、などの議論はほとんど行われていません。そこでアジャイルSQC研究会では、企業や組織の枠組みを超えてアジャイル開発における定量化および分析の議論や研究を行い、その成果を産学に還元することで貢献して参ります。

- 目的：アジャイル開発における定量化に関する分析技術の研究・実践および事例提供を目的とします。
- 研究テーマ：
  - ・ Four keysのようなアジャイル開発における定量化
  - ・ 平均テスト実行時間やFlakinessのようなCI/CDやDevOpsにおける定量化
- 頻度：月1度程度のクローズドな会合（オンライン）を実施しております。
- 成果の公開：定期的に、概要をRSGTやDevOpsDays、ScrumFest、SQiPシンポジウム、JaSST、不定期の無償ミートアップなどで公開する予定です。また詳細について研究会内部で共有するとともに、日科技連の有償セミナーでも公開する予定です。
- 参加費：無料
- 参加資格：
  - ・ 自社のデータや分析事例などを（匿名化などを十分施した上で）研究会に提供できるよう組織と交渉する意思のある方
  - ・ 定期的に会合に参加して議論できる方
  - ・ アジャイル開発における定量化や分析について強く興味がある方

### ▼参加申込はこちらから

[https://www.juse.or.jp/sqip/agile\\_sqc/index.html](https://www.juse.or.jp/sqip/agile_sqc/index.html)



## 「すべての技術者に品質技術を！」

企業（人）の問題解決や課題達成を第一に考え、  
ソフトウェア品質知識体系ガイド SQuBOK Guide を軸に  
セミナー、研究会、シンポジウム、資格試験等、幅広く事業展開。

<SQuBOK Guide 網羅範囲>

基礎・実践

### ●研究会：

ソフトウェア品質管理研究会  
ODC分析研究会

実践（アウトプット）

### ●シンポジウム：

企業の成果・事例発表  
相互研鑽・情報交流の場

### ●国際活動

基礎（インプット）

### ●セミナー：

品質マネジメント概論／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアメトリクス／ソフトウェアテスト／プロセス改善／要求・仕様／派生開発／アジャイル／PM・PJ等

### ●eラーニング／オンデマンド：

品質マネジメント概論／ソフトウェア品質技術／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアテスト／アジャイル開発・マネジメント

評価（アウトプット）

資格試験

…知識・技術の適格性の証明



# 8. SQiPシンポジウムのご紹介

## ソフトウェア品質シンポジウム2024 今年度もオンラインで開催！

### 2024年7月1日より申込開始！

#### 特別講演1

9/12 木



ビジネスモデルで先行し  
現場力の勝負に持ち込む  
EARTH BRAINの実践

小野寺 昭則 氏

株式会社EARTH BRAIN 代表取締役社長

#### 特別講演2

9/13 金



エンジニアリングにおける  
生成AI活用の現在地

服部 佑樹 氏

ギットハブ・ジャパン合同会社  
Senior Customer Success Architect

#### 特別企画 併設チュートリアル

8つのテーマから選択できる半日集中講座です。

①～④[9/6金]13:00～17:00、⑤～⑧[9/11水]13:00～17:00

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p>1 プロジェクトマネジメント基礎と品質向上・障害対応<br/>尾崎 孝介 氏 (MIDデジタルサービス株式会社 戦略・プログラム担当 常務執行役員)</p>                  | <p>4 テスト戦略<br/>長谷川 聖 氏 (株式会社ベリサーブ 執行役員 ソフトウェア品質コンサルティング部部長)、<br/>山崎 真 氏 (株式会社ベリサーブ 品質保証部 プロジェクト推進課 課長 兼 ソフトウェア品質コンサルティング部 コンサルタント)、<br/>磯邊 悠里子 氏 (株式会社ベリサーブ 品質保証部 教育課課長)、<br/>佐々木 方規 氏 (株式会社ベリサーブ 技術フェロー)</p> | <p>6 演習を通して学ぶテスト設計技法入門<br/>河野 啓也 氏 (株式会社 ナレッジワーク Engineering Div. - QA Group / QA Engineer)</p> |
| <p>2 AIシステム品質のエッセンス<br/>久遠石 圭 氏 (株式会社 駿子システム/パーソナルテクノロジーセンター 端ソフトウェア開発 ソフトウェアエンジニアリング開発エキスパート)</p> | <p>5 レビュー指摘のカラクリを解き明かして狙った指摘をするノウハウを持ち帰ろう(上流フェーズ編)<br/>安達 眞二 氏 (株式会社HBA 経営企画本部 エグゼクティブエキスパート 兼イノベーション推進室 理事)</p>  | <p>7 品質の観点からのアジャイル開発入門<br/>永田 敦 氏 (サイボウズ株式会社 開発本部 アジャイルオリティ 技術顧問)</p>                           |
| <p>3 SQuBOKv3ツアー ～クラウド編～<br/>長久 勝 氏 (国立情報学研究所 GRACEセンター 特任研究員 (非常勤))</p>                           | <p>8 ソフトウェアメトリクス (仮題)<br/>野中 誠 氏 (東洋大学 経営学部 経営学科 教授)</p>  |   |

詳細は下記WEBサイトをご覧ください！

▼  
<https://www.juse.jp/sqip/symposium/>

## 「すべての技術者に品質技術を！」

企業（人）の問題解決や課題達成を第一に考え、  
ソフトウェア品質知識体系ガイド SQuBOK Guide を軸に  
セミナー、研究会、シンポジウム、資格試験等、幅広く事業展開。

<SQuBOK Guide 網羅範囲>

基礎・実践

### ●研究会：

ソフトウェア品質管理研究会  
ODC分析研究会

実践（アウトプット）

### ●シンポジウム：

企業の成果・事例発表  
相互研鑽・情報交流の場

### ●国際活動

基礎（インプット）

### ●セミナー：

品質マネジメント概論／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアメトリクス／ソフトウェアテスト／プロセス改善／要求・仕様／派生開発／アジャイル／PM・PJ等

### ●eラーニング／オンデマンド：

品質マネジメント概論／ソフトウェア品質技術／ソフトウェアレビュー／ソフトウェアテスト／アジャイル開発・マネジメント

評価（アウトプット）

資格試験

…知識・技術の適格性の証明

## <ソフトウェア品質技術者資格認定制度（JCSQE）>

- 企業の皆さんが、正しい知識・技術（SQuBOK、セミナー、研究会）を身に付け、
- 研究・技術の実践（実務、研究会）をし、
- 世の中に広く発信（シンポジウム、国際活動）をし、
- 評価、証明の一つとして、「ソフトウェア品質技術者資格認定制度」を設けている。

### ▽本資格認定の目的：

- ・本制度は、すべてのソフトウェア技術者に品質技術を身につけ、実践していくことによりソフトウェア品質の向上を実現すること

### ▽本資格認定の対象：

- ・品質保証部門のみならず、ソフトウェア開発者、テストエンジニアなどソフトウェア品質に携わるすべての方々

### ▽本資格認定の構成：

- ・初級、中級、上級の3段階により構成。  
初級試験は年2回、中級試験は年1回と定期的に実施。  
上級試験については今後新設予定。

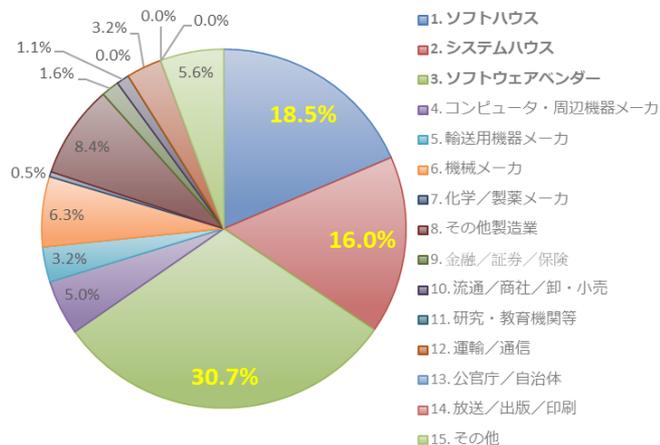
### ▽本資格認定の実績：

受験者数は延べ、初級は約12,000名、中級は約2,300名！  
初級有資格者：4,534名、中級有資格者：311名となっている。  
(2023/9/2現在)

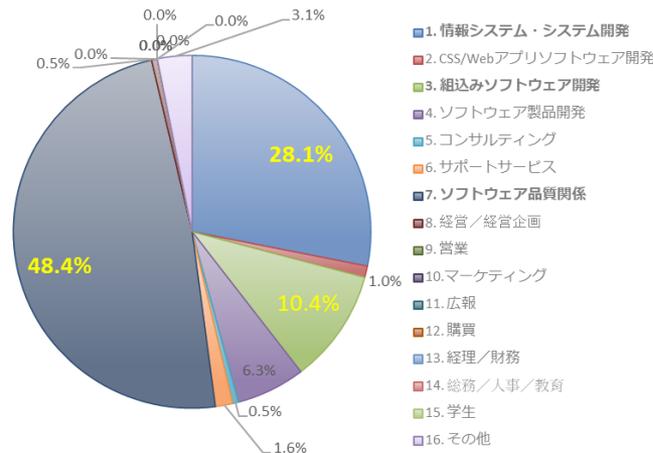
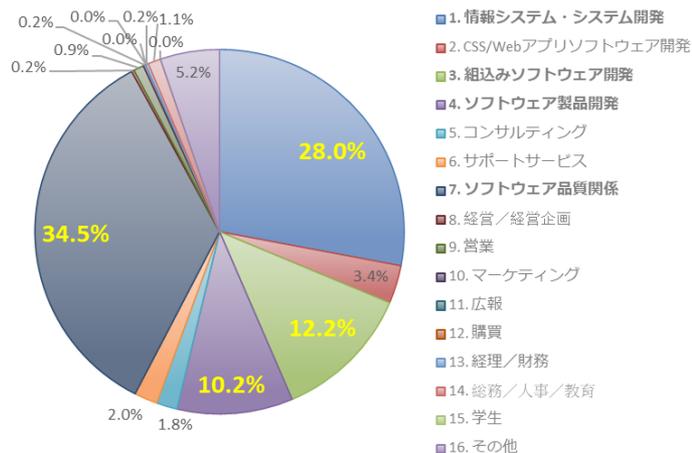
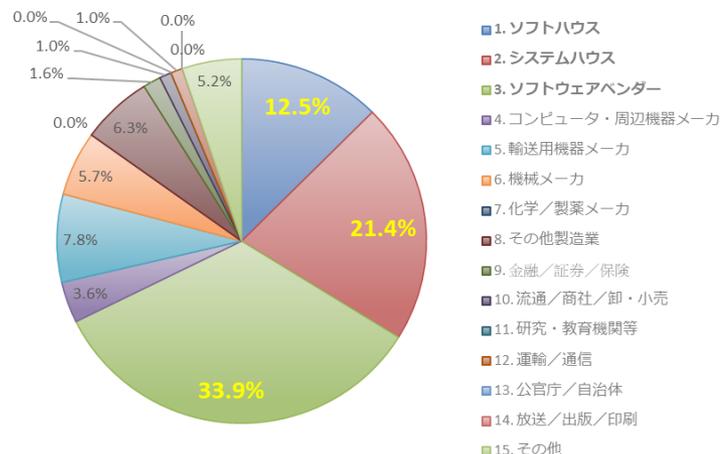


# 9. 資格試験のご紹介

## ● 初級試験の受験者情報（業種・職種）



## ● 中級試験の受験者情報（業種・職種）



# 9. 資格試験のご紹介

## ◆ 学習方法 :

- ✓ [ソフトウェア品質知識体系ガイド - SQuBOK Guide - 第3版](#)
- ✓ [初級ソフトウェア品質技術者資格試験 \(JCSQE\) 問題と解説【第3版】](#)
- ✓ [ソフトウェア品質技術者初級セミナー 他 ソフトウェア品質研修](#)
- ✓ [ソフトウェア品質資格試験 過去の出題解説問題](#)
- ✓ [ソフトウェア品質向上プラットフォーム「Qbook」: テス友](#)



## ◆ 導入企業の声・合格者の声 :

### ● 当社では社内資格制度の必要条件としてJCSQEを指定し、スペシャリストの育成を目指しています！

当社では、グループ企業を含めて「NEC・サーティファイド・プロフェッショナル」(NCP) という資格制度を展開しています。NCPでは、「ソフトウェアアーキテクト」や「プロジェクトマネージャー」など、弊社のビジネスを遂行するために・・・。

### ● ソフトウェア品質を担保できる技術者であることを客観的に示す本資格の資格取得の推進！

厳しい競争環境に打ち勝つ競争力を確保するため、個人の技能と業務遂行能力のより一層の向上を目指し、社員のあるべき姿として「一人称で品質保証が出来ること」を目指して社員育成に取り組んでいます。弊社では・・・。

### ● 品質技術者をプロフェッショナルに！

弊社では過去 TQC・TQM (全社的品質管理) を導入していたこともあり、日科技連でソフトウェア品質に関する教育が始まった1980年の黎明期から、品質教育には熱心でした。そのきっかけもあり・・・

<<< その他、JCSQE導入企業による活用事例やインタビューは「[こちら](#)」をご覧ください >>>

## ◆ 受験申込・お問い合わせ

### ● 受験申込期間に、JCSQE Webサイトからお申込みください。

URL : <https://www.juse.jp/jcsqe/schedule/>

### ● お問い合わせ先 :

一般財団法人日本科学技術連盟 品質経営推進センター 品質経営・SQiP・MSグループ

ソフトウェア品質技術者資格認定制度 (JCSQE) 担当

TEL : 03-5378-9813 E-mail : [sqip@juse.or.jp](mailto:sqip@juse.or.jp) Webサイト : <https://www.juse.or.jp/sqip/>

◆ NECグループ  
◆ TIS・インテックグループ  
◆ キヤノングループ  
◆ NTTグループ  
他、組込みソフトウェア企業等  
社内計画への導入企業年々増加中！



## 初級ソフトウェア品質技術者資格試験

**開催日** : ~~第32回 2024年6月8日(土)10:30~11:30 (60分)~~  
第33回 2024年11月11日(土)10:30~11:30 (60分)

**開催地域** : 東京、名古屋、大阪、福岡、那覇 (予定)

**試験料** : 15,400円 (税込)

**申込期間** : ~~第32回 2024年2月13日(火)~4月12日(金)15:00まで(予定)~~  
第33回 2024年7月16日(火)~9月4日(水)15:00まで(予定)

<https://www.juse.jp/jcsqe/>

# 9. 資格試験のご紹介

## 中級ソフトウェア品質技術者資格試験

**開催日** : 2024年11月9日(土) 13:30~15:30(120分)

**開催地域** : 東京、名古屋、大阪、福岡、那覇 (予定)

**試験料** : 20,900円(税込)

**申込期間** : 2024年7月16日(火)~9月4日(水)15:00まで(予定)

<https://www.juse.jp/jcsqe/>

## JSTQBテスト技術者資格

### Foundation Level 試験 実施要綱

■ 試験時間：60分間

■ 試験形式：複数の選択肢から正解を選ぶ形式

※複数の成果を選ぶ形式で出題される場合もございます。

■ 問題数：40問

■ 合格ライン：

ISTQB「ISTQB Exam Information」に従う

## JSTQBテスト技術者資格

### Foundation Level 試験 実施要綱

#### ■ 開催形式：

- ・ 2022年10月～：CBT（コンピュータ・ベースド・テスト）
- ・ 2023年 8月～：PBT（ペーパー・ベースド・テスト）
  - (1) [個人向けPBT](#)（2024年5月/7月/9月/11月/2025年1月）
  - (2) [企業向けPBT](#)（企業様のご都合に合わせて、随時受付・実施中）

#### ■ 開催地域：

- ・ CBT：全国のテストセンター  
URL：[https://www.pearsonvue.co.jp/Documents/Japan-Downloads/TC\\_List/pvue\\_jp\\_TC\\_all.aspx](https://www.pearsonvue.co.jp/Documents/Japan-Downloads/TC_List/pvue_jp_TC_all.aspx)
- ・ PBT：
  - (1) [個人向けPBT](#)：日科技連・東高円寺ビル／大阪事務所
  - (2) [企業向けPBT](#)：ご担当者様と相談の上、実施いたします。

#### ■ 試験料：22,000円（税込）

# 9. 資格試験のご紹介

JSTQB  
Foundation Level (PBT)

企業単位でのお申込み  
好評受付中です！



詳しくはお問い合わせ下さい。  
juse-query@juse.or.jp

## 企業単位受験のメリット

- 開催日が決まっているため目標設定しやすい！
- 計画的な学習が可能！
- 企業の教育担当者様へ合否を直接通知！
- 受験会場の指定が可能！

企業のニーズが年々増加中！  
企業／個人の  
レベルアップを計画的に！

## (1) SQiPの基本理念

- 品質にしっかりと取り組めば、組織は賢く、強く、幸せになれる
- 企業（人）の問題解決、課題達成のための事業継続

## (2) 専門団体、企業との更なる連携・協業・共創（協創）

- 長きにわたり、企業（人）に寄り添って、品質教育を実施
- 管理技術（経営・マネジメント・開発を含む）の重要性
- 自社のコア技術（固有技術）と管理技術の二輪走行

## (3) （日科技連として）顧客価値創造、品質を中核とした事業展開

- デジタル化時代に伴う事業変革
- モノづくりからコトづくりへ コトづくりからモノづくりへ
- 品質の意義：  
狭義（ものの出来栄え）ではなく、広義（社会や顧客のニーズを満たす度合い）

## (4) 人材確保・人材育成

- 製品・サービスの多様化に伴う、適切な人材確保、教育・育成
- デジタル人材、データサイエンティストの教育・育成

等々

ご質問などは下記までお願いします。

一般財団法人日本科学技術連盟  
品質経営推進センター 品質経営・SQiP・MSグループ  
SQiP担当：[sqip@juse.or.jp](mailto:sqip@juse.or.jp)

— 品質経営で明るい未来を創る —